

資料 1

答申案委員意見反映一覧

答申案 ページ	答申案		委員意見		会長意見	
	No.		No.		No.	
2	1	1.はじめに(新規項目) 富谷市の状況、経緯、市に向けてのメッセージを明記				
3	2	2.市民の公益的な活動について(新規項目) (1)基本的な考え方 市民の公益的な活動は、市民の主体的な参加に支えられています。市民が、いかに自分たちの手で自分たちが住んで良かった、住み続けたいと思える地域を作っていくかということ意識し、市民による市民のための活動に主体的に関わることが基本的な姿勢と考えます。	1	これからも住む所をちょっとでもいいものにして、ここに住んでよかった、ここは最高だと思えるものにしていこうという思いから市民協働を発信するのがいい。(増田委員)		
3	3	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿	2	こういう理想があって、そのためにはどうしたらいいかと課題を考えるという、そういった順番でないと結局、課題でネガティブなものになってしまい、進歩がないと思う。(増田委員)	1	何のために課題を抽出して、どういうふうな市民活動にしていくために生かすことを提言していくかという形の方がいいのかなと思う。
3	4	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿 ①市民にとって身近な居場所となり、生涯にわたって活躍できる場となる活動であること。	3	身近な距離感で色々な人が集まって協働していくことがテーマになる。(菅野委員)		
			4	身近な距離感はずごく重要なテーマだと思う。(増田委員)		
			5	高齢者の立場から言うと、色々な対価を得るより、居場所を見つけて生涯幸福感が得られることが一番大事で、そういう地域づくりができるのが富谷だと感じている。(日諸委員)	2	居場所というのも何かこう無理に起業者を生むとか、市民活動を生んで数を増やすことだけではなく、必ずしもこういったことだけにとらわれないような、笑顔がつながるとか、あるいは幸福感が増すとかといったKPIの設定というものもこれから重要になる。

答申案 ページ	答申案		委員意見		会長意見	
	No.		No.		No.	
3	5	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿 ②地域の良さを見出し、地域をクリエイト(創造)する活動であること。	6	いいところをもっと良くするためには何が必要か、ポジティブなところから入っていくという視点もすごく大事だと思う。(佐藤(怜)委員)	3	課題について、ポジティブに持っていくということが次につながると思う。どう良くしていくか、その視点は必要。
			7	市民協働は一生ここに住みたいという、まちをクリエイトしようというような目標があって、そのためには地域によっては課題も良さも違うと思う。自分たちで課題も良さも皆で力を合わせていいものにしていくという構造の方がすごくいいものになっていくと感じる。(増田委員)	4	市民活動というのはつながりを作る場であるとか、住民がクリエイトしていく場だということを感じていきたい。
3	6	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿 ③多世代が交流する場となる活動であること。	8	元気な高齢者がいっぱいいるので活躍の場を与えて、逆に若い人たちを呼び込んで、その若い人たちもお子さんを連れて一緒に勉強してもいいし、一緒に作業してもいいし、そういう逆バージョンの場を提供できたら、もっと元気になって、もっと活性化できるのではないかなと思う。(日諸委員)		
			9	東日本大震災の時は中学生や小学生が先頭に立って働いてくれたということがすごくあるので、子どもたちが参加できるものを作っていきたいといつも思っている。(平岡会長職務代理者)		
3	7	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿 ④つながりを作り、地域の人材を育む活動であること。	10	一番底辺の部分での人づくり、ネットワークづくりをやっていくのも一つの方法、アプローチの仕方がかなと思う。(北野澤委員)		
3	8	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿 ⑤自然環境や農業など、富谷市ならではの地域資源を生かす活動であること。	11	団地の方々が農業なり何なりをやりたいという話もあり、そういう方々に参加していただくのもいいのではないかなと思う。そういった活動を色々な形で利用させていただいて旧町内会も活発になっていくという、そういう盛り上げ方というのも一つの市民協働の在り方だと思う。(佐藤(政)委員)	5	団地にお住まいの方が農業をやりたいということであればいくらでも受け入れることができる、そういう環境があることが富谷の強みであると思う。

答申案 ページ	答申案		委員意見		会長意見	
	No.		No.		No.	
3	9	2.市民の公益的な活動について (2)理想の姿 ⑥市民が自らできる活動を創出し、発信する活動であること。	12	市から言われてやるのではなく、47ある町内会の中でできること、できないこと、そこでできないことがあるので、自分の所でできることを何か発信していけばいい。市民の立場から何か発信していくことが大切なことだと思う。(平岡会長職務代理人)	6	町内会ごとの特性を分析して、ここだったらこういうことをやったらいいのではないかと一緒に協働でやってみませんかという進め方が良い。
			13	住民から発信できるような形を作っていないと、いくら市からやってもだめだと思う。何か市民から、自らできるものだっていうものを作ったほうがいいと思う。(村上委員)	7	これからは市民参加型、あるいは市民発というものが増えていって、行政発、行政主導でないものでやっていくことになる。行政はできるフォローをしていくことが持続するイベントになってくると思う。
4	10	3.市民の公益的な活動への支援について (1)市民、地域の視点からの課題 前文を追加 市民の公益的な活動への支援について検討するにあたり、市民の公益的な活動を促進し、前述した理想の姿を具現化していくために、富谷市においてこれから求められる支援を、次のとおり整理しました。			8	(1)市民、地域の視点からの課題、(2)支援施設等の課題、それぞれの観点からの課題のところにビジョンやあるべき姿といったものがみえていくといい。
4	11	3.市民の公益的な活動への支援について (1)市民、地域の視点からの課題 ①多様化する市民活動への対応 「オ」を追加 オ.子どもや若者が市の取組や地域の活動を身近に感じる機会を増やし、次世代の人材育成につなげていくための支援が必要。	14	学生は市の活動が身近に感じる機会が意外にない。わくわくミーティング等、小学生や中学生を対象にやっていたりするので、そういう活動をどんどん広げていけばいいと思う。人材育成にもつながる。(菅野委員)		
5	12	3.市民の公益的な活動への支援について (1)市民、地域の視点からの課題 ②分野や地域を越えた連携・つながりの促進 ※朱書き部文言追加			9	前の方で市民活動への対応と書いてありますので、連携やつながりづくりの促進みたいなことになるのだと思う。

答申案 ページ	答申案		委員意見		会長意見	
	No.		No.		No.	
5	13	<p>3. 市民の公益的な活動への支援について</p> <p>(1) 市民、地域の視点からの課題</p> <p>③地域資源(人材、施設)の活用</p> <p>イ.市民の活動の場として、子どもや若者も参加しやすいよう、最も身近な町内会館の活用を促進させていくことが必要。</p> <p>※朱書き部文言追加</p>	15	<p>小学生、中学生、子どもも含めて、町内会館を軸に身近な距離感で、町内会館から始まり、市民協働課を含め富谷市の行政の方々とも関わられるような場というか、しくみを作っていくべきだと思う。(菅野委員)</p>		
6	14	<p>3. 市民の公益的な活動への支援について</p> <p>(1) 市民、地域の視点からの課題</p> <p>④情報の発信と共有</p> <p>イ.活動の事例やノウハウなどをまとめたケースブックのようなものを作成するなど、市民の活動などを可視化し、広く共有するための支援が必要。</p> <p>※朱書き部文言追加</p>	16	<p>ケースブックのようなものを作って情報を発信するといった話もあったが、まずは市役所や社協など各機関においてどんな活動を把握しているかについて共有しておかなければ情報発信は難しいと思う。新しいものを作っていきより既存のものをどんどん良くしていき、その情報を得たうえで市民に向けて情報を発信することによりケースブックも作りやすくなると思う。(佐藤(怜)委員)</p>	10	<p>市役所の中で各セクションで持っている情報をイラスト化や可視化したものから始められたらいいのではないかという趣旨。ケースブックは個別事例なので、全体の把握も改めて必要になる。</p>

答申案 ページ	答申案		委員意見		会長意見	
	No.		No.		No.	
7	15	<p>3. 市民の公益的な活動への支援について (2) 支援施設等の課題 項目名を変更、前文を追加</p> <p>現在、富谷市には、市民の活動を支援する主な拠点施設として、富谷市まちづくり産業交流プラザ(とみふら)、公民館6館、富谷市社会福祉協議会が運営している富谷市ボランティアセンターがあります。</p> <p>また、行政の担当部署となる市民協働課においては、市民協働のまちづくり推進に関する方針の策定を行うなど、市民協働に係る総合的な企画及び調整などの役割を担っています。</p> <p>今後、それぞれの支援施設が連携し、情報を共有しながら、より市民が利用しやすい施設として機能を充実させていくことが必要です。また、それぞれの支援施設が連携していくうえでは、市民協働課が中心となり、総合的な調整を図るとともに、市民協働のまちづくり推進に向け、富谷の市民協働のシンボルとなるような取組を創出し、市民の活動やまちづくりに参加する市民をこれまで以上に増やしていくことが必要です。</p> <p>今回の諮問においては、主にソフト面の機能について答申を求められているところですが、今後、ハード面の機能について、具体的に課題を整理し、検討を進めるうえでは、それぞれの支援施設をはじめ、町内会が管理運営している町内会館や、公園、道路などの公共空間など、様々な既存の施設等を最大限に活用し、可能な限り、市民の身近な場所で支援を行っていくことを考慮していくことが必要です。</p> <p>なお、現時点において、支援施設が抱えている主な課題については、それぞれの施設に聞き取りを行い、次のとおり取りまとめました。今後、総合的な視点で、それぞれの施設の課題を捉え、改善を図っていくことが必要です。</p>			8 (再掲)	(1) 市民、地域の視点からの課題、(2) 支援施設等の課題、それぞれの観点からの課題のところにビジョンやあるべき姿といったものが見えていくといい。
			17	町内会館は町内会で運営しているため、町内会によって使い方が厳しいところとそうではないところがある。(北野澤委員)	11	町内会館にもそれぞれ多様性があるということで、必ずしも全部一律にという話ではないと思うが、それぞれのいいところと悪いところ、メリット、デメリットをどのように活用していくか考えなくてはいけない。
			18	まちが何か一斉にするというものを、市民協働の一つの何か、一回やってみてもいいと思う。(村上委員)	12	何か富谷の市民協働というところとこれですよということで、今、蜂蜜が一つ象徴になっている感じがするんですけども、市民協働で、蜂蜜以上にもっと皆さんが関わりやすいようなものという意味だったと思うが、何か一つ打ち出すことが必要ではないかと思う。
				13	市民協働を促進するというと、どうしても支援施設等の建物の中での活動となってしまいが、活動は外でやっている可能性もある。むしろ、外が多い可能性もある。市民活動を促進する場というのは「ハコモノ」である必要はなく、公園とかその辺の道端でも良い。市民協働課をどのように扱うかという問題もあるため、表し方を検討していく必要がある。	

答申案 ページ	答申案		委員意見		会長意見	
	No.		No.		No.	
8	16	3. 市民の公益的な活動への支援について (2) 支援施設等の課題 ①富谷市まちづくり産業交流プラザ(とみふら) イ.入居事業者の増加により、新規に施設への入居希望があっても入居が困難となっている。(施設面) ※朱書き部文言整理				
8	17	3. 市民の公益的な活動への支援について (2) 支援施設等の課題 ④市民協働課 「イ」を追加 イ.市民の活動の情報収集や分析を行うなど、市民の活動の現状を総合的に把握することが必要。また、総合的な調整を図っていくための体制を構築していくことが必要。			14	市民協働課も市役所というハードの中に入っている窓口なので「ア。」ということの一つの課題があると思うが、この他にも課題の整理、付け足しという部分であるのではないかと思う。 行政だとどうしても対応が一律になってしまいがちだが、47町内会それぞれに特性があるのでそれを分析し、それぞれにあった協働の進め方で実施していくことが良い。
9	18	3. 市民の公益的な活動への支援について(新規項目) (3) 富谷市における支援の在り方 提言を明記(意見の総括)				
10, 11	19	4. 参考資料(新規項目) (1) 審議会等開催経過 (2) 富谷市協働のまちづくり推進審議会 委員名簿				